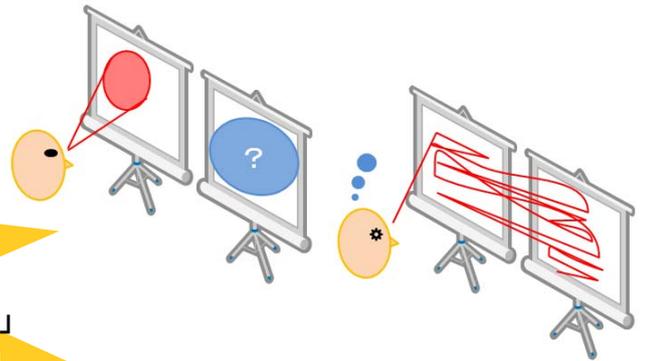


宮城教育大学 しょうがい学生支援室

聴覚障害学生だけの苦勞なんてもうイヤ！

- 「スライド・ビデオや文字通訳の字幕のどれかに注意を向けるため、もう一方の情報は見れない！」
- 「両方のディスプレイに視線を何度も往復するから、目がすごく疲れる！」
- 「タイムラグがあるから、それぞれの内容はどういう関係があるのか自分が考えないといけなくなるからまいっちゃうよ。」
- 「長時間見るくらいなら、印刷した資料をもらったほうがまし。」



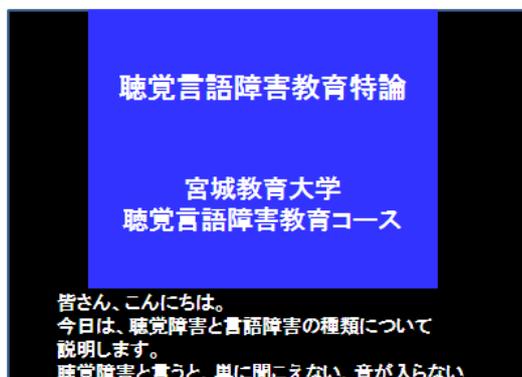
「画面分割機」なら…と思ったけど、制約が多すぎて不便！

(例えば、分割しても画面が勝手に伸びてしまう、2分割・3分割と固定してて不便)

複数の画像のサイズや位置を手軽に変更できるディスプレイシステムを作ろう！

<使用した備品>

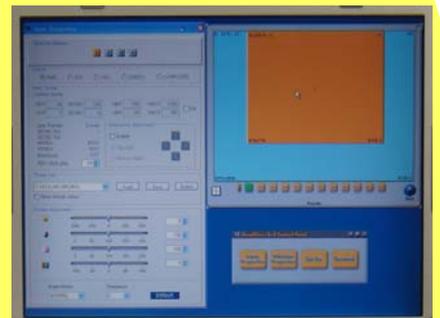
- ①ディスプレイプロセッサ
- ②ディスプレイプロセッサをコントロールするパソコン
- ③ビデオ・スライド（パワーポイント）を操作するパソコン
- ④文字通訳で訳出した字幕を表示するパソコン
- ⑤③と④のパソコンの画像を表示するディスプレイ



例えば、左図のように自由に調整できる！



②の画面
専門知識がなくてもコントロールパネルを使って手軽に変更できる！

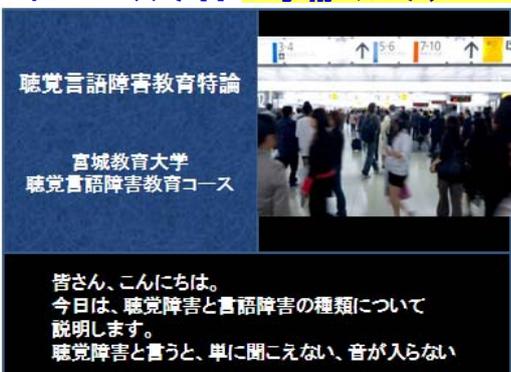


聴覚障害学生の声

- Aさん 「前よりキョロキョロ視線が定まらない状態があまりなくて良かったです。」
- Bさん 「印刷資料を使わなくても安心して見られたし、首もつかれなかった。」
- Cさん 「同時に見ることができた！」



↑ PPT スライド&字幕のパタン



↑ スライド&ビデオ&字幕のパタン

問い合わせ先

特別支援教育講座 聴覚・言語障害教育コース 准教授 松崎 文
しょうがい学生支援室 聴覚障害専門部会委員 e-mail joemk@staff.miyakyo-u.ac.jp